

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 22 号	氏名	伊藤 雄一郎
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	下川 功	
	副 査	永安 武	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、劇症肝不全状態から肝移植までの橋渡しとしてその有効性が証明されている人工肝臓システムに関し、システム内肝細胞への劇症肝不全血清の影響を種々の肝機能関連遺伝子発現や増殖活性から検討したもので、研究目的として妥当である。 2 研究手法に関する評価 劇症肝不全血清は、既に確立した方法に基づいて調整され、また人工肝細胞システムも既知の条件下で作製されている。肝細胞機能評価遺伝子としてアルブミン等適切な遺伝子群を選択し、より定量的な RT-PCR 法で検討すると共に、増殖に関しては c-fos 遺伝子発現と PCNA 発現により検討しており、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記の検討により、人工肝臓は劇症肝不全血清を浄化すると共に、逆にダメージを受け肝特異的機能を低下させることが判明し、今後の肝不全血清中の負のサイトカイン同定の重要性を指摘した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。 以上のように、本論文は人工肝臓の長期機能維持法の開発に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			